

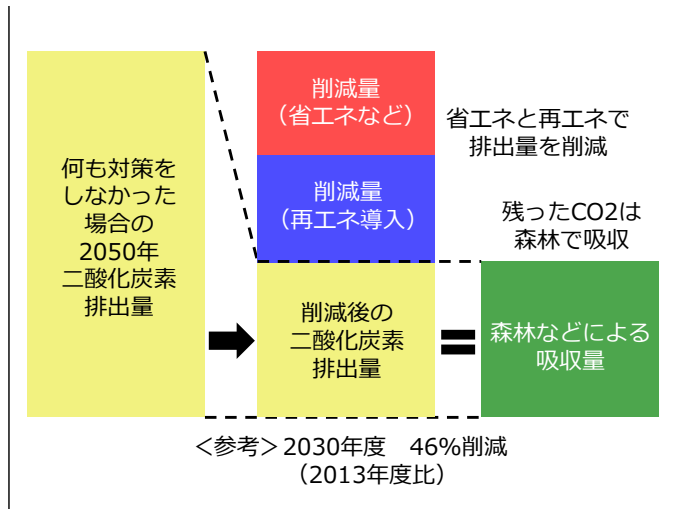
「2050年ゼロカーボンシティみやざき」を宣言しました！

宮崎市は、令和3年8月30日の市議会9月定例会において、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティみやざき」を目指すことを宣言しました。

●実質ゼロとは？

二酸化炭素排出量と森林などによる吸収量を均衡させる（差し引きゼロにする）ことです。

●2050年ゼロカーボンへのイメージ



●ゼロカーボンシティとは？

環境省では、2050年にCO₂（二酸化炭素）を実質ゼロを目指すことを目指す旨を首長自らが又は地方自治体として公表された地方自治体を「ゼロカーボンシティ」としています。

令和3年9月21日現在、宮崎県では、宮崎市の他に宮崎県、串間市、都農町が宣言しています。

●地球温暖化が進むとどうなる？

IPCC（気候変動に関する政府間パネル）の報告書では、**極端な高温、大雨、強い熱帯低気圧**の発生などの気候変動が拡大すると報告されています。

それに伴い、**熱中症**による救急搬送の増加、今までに経験したことのないような**自然災害**の発生、**農作物の品質低下**など、私たちの生活に大きな影響を与えることが懸念されます。



○2050年ゼロカーボンはどうやって実現する？

では、どうすれば2050年ゼロカーボンを実現できるのでしょうか？2050年までにはあと30年近くあり、身近な未来としてイメージするのは難しいものです。そこで政府は、より近い目標として、**2030年度の二酸化炭素などの温室効果ガス排出量の削減目標**を、従来の2013年度比26%削減から46%削減に引き上げることを宣言しました。

宮崎市でも、現在の計画では、国の目標と同様に26%削減を目標としているので、来年度その目標を見直し、目標達成のために、省エネルギーの推進と再生可能エネルギーの最大限の導入を進めていく予定です。



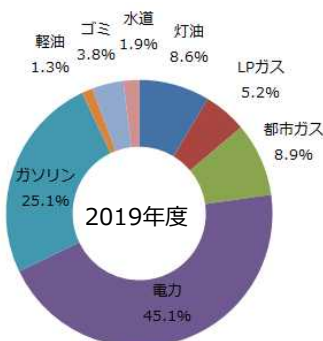
○私たちにできることは？

私たちに最も身近な**家庭で排出される二酸化炭素**は、照明や家電など、**電力の消費**によるものが**45.1%**を占めています。次いでガソリンからが25.1%、都市ガスからが8.9%と続きます。

家庭で多くの電力を消費するのは、順に冷蔵庫、照明器具、テレビ、エアコン、電気便座となっています。どうすればこれらの電力を減らして、CO₂を削減できるかは裏面へ…

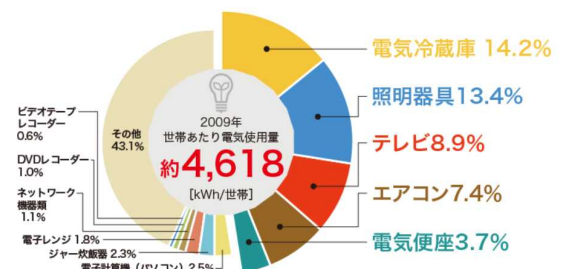
●家庭で一番CO₂が排出されているのは？

(燃料種別割合)
出典：温室効果ガスインベントリオフィス



●家庭で一番電力を消費するものは？

出典：資源エネルギー庁HP



出典：資源エネルギー庁「平成21年度 民生部門エネルギー消費実態調査および機器の使用に関する補足調査より日本エネルギー経済研究所が改算（エアコンは2009年の消費・種別の影響を0）」

○家電を省エネするには？

●冷蔵庫編

- ・開いてる時間を短く、余分な開閉をしない！
- ・物を詰め込みすぎない！
- ・熱い物は冷ましてから保存！



●テレビ編

- ・見ないときは消す！
- ・画面は明るくしすぎないように、こまめに掃除！
- ・音量は適度な大きさで！



●電気便座編

- ・長時間使わないときはOFFに！
- ・季節に合わせて温度調節！
- ・使わないときは、便座にフタを！



●照明器具編

- ・器具の掃除で明るさアップ！
- ・点灯時間を短く！
- ・待機消費電力を削減！
※電気を長時間消すときは、リモコンではなく壁のスイッチで！



●エアコン編

- ・カーテンで窓からの熱の出入りを防ぐ！
- ・室外機のまわりに物を置かない！
- ・風向きを上手に調整！
※暖房は下向き、冷房は水平！



詳しくは、環境省「しんきゅうさん」で検索！
※省エネ製品への買換えによる電気代削減効果が簡単に比較できます！

しんきゅうさん



○ゼロカーボンアクション

～日常生活における脱炭素な行動と暮らしにおけるメリットは？～

●省エネ家電の導入

～電気代が節約できます。まずは、「しんきゅうさん」などでどのくらい節約できるか調べてみましょう。

●宅配便を1回で受け取る

～受取時間や場所を指定すると、再配達の手続きなどの無駄な時間が節約できます。

●スマートムーブ

※徒歩、自転車・公共交通機関での移動。エコドライブ。

～運動量を確保でき、健康的な生活ができます。燃費が向上します。



●食品ロスの削減

※食べ切れる分だけ買う。

～食費が節約できます。家庭ごみが減量できます。



●服を長く大切に着る

～無駄遣いが防止できます。体型維持（健康管理）を心がけることができます。

●マイバック、マイボトル、マイ箸等を使う

～お金が節約できます。家庭ごみが減量できます。



●ごみを分別する

～家庭ごみが減量できます。



●脱炭素型の製品・サービスの利用

※環境配慮のマークが付いた商品、カーボンオフセット、カーボンフットプリント表示商品の選択。

～より簡易な包装の商品、環境配慮のマークが付いた商品、バイオマス由来プラスチックを使った商品、詰め替え製品を選ぶことで、環境負荷を低減でき、将来の自分たちのためになります。



ほかにも、脱炭素に繋がる様々なアクションがあります。

(環境省HP) ゼロカーボンアクション30—日常生活における脱炭素行動と暮らしにおけるメリット

<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/topics/20210826-01.html>

自分にできることに取り組んでみましょう！

○編集後記

私自身、環境部に配置されるまでは、環境問題は遠い未来の話だと思っていましたが、猛暑や大雨など自分たちの生活に少しずつ影響を与え始めていることがわかりました。一人ができることはほんの小さなことかもしれませんが、その積み重ねが大事だと信じ、まずは自分にできることを一つでも実践してみようと思いました。